

# ねくさす通信

## Vol.18

【発行】令和8年1月20日

地域活動ホーム ガッツ・ビーと西

横浜障がい相談システム ねくさす

【問い合わせ】

〒220-0051 横浜市西区中央 1-18-22-103

TEL045-594-7681 FAX045-594-7682



## あけましておめでとうございます

地域活動ホームガッツ・ビーと西の所長として10年目を迎えました阿部より、皆さまにご挨拶申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

西区では平成27年11月より「地域センター会議」を立ち上げ、高齢・障がい・子ども・生活困窮など分野を越えて相談支援機関等、いわゆる「センター」と呼ばれる機関が連携し、お互いが知り合うことを軸に“制度の狭間”という、見えない溝を少しずつ埋める仕組みづくりを進めてきました。

その一環として令和元年から「西区みんなの相談窓口」を設け、困ったときにどこに連絡しても支援につながるワンストップ体制を整えています。

まだ浸透には時間がかかりますが、地道に継続することで地域に根付いてきています。

こうした取り組みは、厚生労働省が掲げる「地域共生社会」の理念に通じます。

令和2年の社会福祉法改正で創設された「重層的支援体制整備事業」も、断らない相談支援や参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に進めるものです。

人口減少などの社会構造の変化に加え、個人の価値観の変化や従来の血縁、地縁、社縁の希薄化などにより、いわゆる8050世帯や社会的孤立、介護・育児のダブルケアなど制度・分野を超えた複合的な課題が浮かび上がってきています。

複合的な課題克服のためには、縦割りを越えた横のつながりが不可欠だと省庁が唱える一方で、行政・福祉関係事業所（もちろん我々の事業所も含め）とまだまだ縦割りが多いのが現状です。

令和8年は午年。行動力と挑戦が成功を呼ぶ年とされています。

私たちも一つギアを入れ替え、地域共生社会の実現に向けて情熱を持って取り組みます。

本年が皆さまにとって健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



地域活動ホームガッツ・ビーと西 所長 阿部浩之



## 約 10 か月ぶりに、生活創造空間にして笑わせてくれました！

2025年2月にも開催した、西区基幹相談支援センター×西区後見的支援室主催の権利擁護企画。前回開催から早10か月、12/6(土)は「落語家と考える“ちがい”を楽しむ力」。

高座はテレビにもたびたびご出演されている、春風亭昇吉師匠です。

今回も“めぐり”の作成は、ガッツ・ビーと西の利用者筆。とても力強い字体です。開会の冒頭には、来場していた視覚障害のある当事者にインタビューさせていただき、日々の暮らしを語っていただきました。生の声です。そして高座では、師匠のこれまでのご経験から、「アイマスク」をして落語を聞くという体験型で“ちがい”を知ってもらう取り組みを行いました。

普段皆さんが聞く落語とは異なり、一人二役で話すこともある落語を、アイマスクをして聞いてみる、皆さんはそんな経験ありますか？ 来場した方からは、「日常の中でいかに目の情報を頼りに生活していることが、改めてよく分かった」「情景がものすごく浮かんできた」等のご意見を聞くことができ、成果はあったと思います。

今回も春風亭昇吉師匠の落語で、たくさん笑わせてもらいました。そして“ちがい”も知ってもらえたのではないのでしょうか。



### ～ 編集後記 ～

今年の干支(えと)は「午(うま)」。ここでクイズです♪  
編集後記に困ってネット検索すると、海に住む「うま」を発見！  
別名は「ウミウマ(海馬)」「リュウグウノコマ(竜宮の馬)」。  
中国語でも「ハイマー(海馬)」、英語だと「シーホース(seahorse)」とのこと。  
さて、何という生き物でしょうか？(正解は本号のどこかに…)



ねくさすより皆さまへ、この広報誌をもって、新年のご挨拶とさせていただきます。  
「色々あったけど・・・良い年になったね！」と皆さまと一緒に振り返れたら幸いです。  
2026年もどうぞよろしく願い申し上げます！

